

# 宇野港湾整備事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども宇野港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、岡山県内の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図っています。



## 日本の食糧生産を支える港湾整備

国際バルク戦略港湾である水島港は、穀物取扱企業が多数集積し食糧コンビナートを形成しています。飼料原料を輸送する大型貨物船が着岸できる大水深岸壁などの整備を実施しており、西日本の穀物輸送拠点となっています。現在は、大型貨物船が入港できるよう海底を掘り下げる航路浚渫の他、大型貨物船を活用した共同輸送に対応するため水島地区の岸壁整備を行っています。



整備中(玉島地区)



整備後(玉島地区)



## みなと学習会、現場見学会の実施

宇野港湾整備事務所では、港の役割や重要性を理解していただくために「みなと親子学習会」を実施しており、港がどのようなものなのか、どのように利用されているのかといったことを、港湾業務艇「たましおⅡ」での海上見学も交えて、学んでいただいております。また、工事現場見学会を開催し、実際に工事の様子を見学してもらうことで、港湾施設整備の施工方法についても理解を深めていただけるような取組も実施しています。



みなと学習会の様子



現場見学会の様子

**【目標】 2022年度:5回/年 → 2027年度:7回/年**



## 耐震強化岸壁の整備

水島港玉島地区において、コンテナ貨物の増加、船舶の大型化に対応するために国際物流コンテナターミナルの整備を行いました。南海トラフ地震等の大規模災害時においても物流機能を維持可能な耐震強化岸壁を整備しており、緊急物資等の輸送、災害時での経済活動における拠点としての機能を有しています。現在は、耐震強化岸壁の整備は完了し、船舶の大型化への対応、災害時にも対応可能な輸送ルート確保のため、航路の浚渫を行っています。



整備中(耐震強化岸壁)



整備後(耐震強化岸壁)